



スプーン印

 三井製糖株式会社

(証券コード 2109)

# 第93期 年次報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

スプーン印のこだわり砂糖





代表取締役社長 雑賀 大介

三井製糖は、  
安心・信頼・天然の食品素材を  
誠実に提供し、豊かなくらしに貢献します。

## CONTENTS

株主の皆様へ	2
トップメッセージ	3
セグメント別の概況	7
連結財務諸表（要旨）	8
TOPICS	9
株主優待アンケート結果のご報告	12
会社概要／株式情報	13

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。  
第93期事業年度の事業の概要をご報告するにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

### ● 当期の概要

当期におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済政策・金融政策を背景に、雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調となりましたが、中国を始めとするアジア新興国等の景気減速や、英国の欧州連合（EU）離脱問題、11月以降の米国の政権交代の影響を受けた為替・株式市場の変動など世界経済の不確実性が一段と強まっていることを背景に、先行き不透明な状況で推移いたしました。また、個人消費につきましては、一部持ち直しの兆しが見られたものの、本格的な回復には至らず、依然として力強さを欠く動きとなりました。

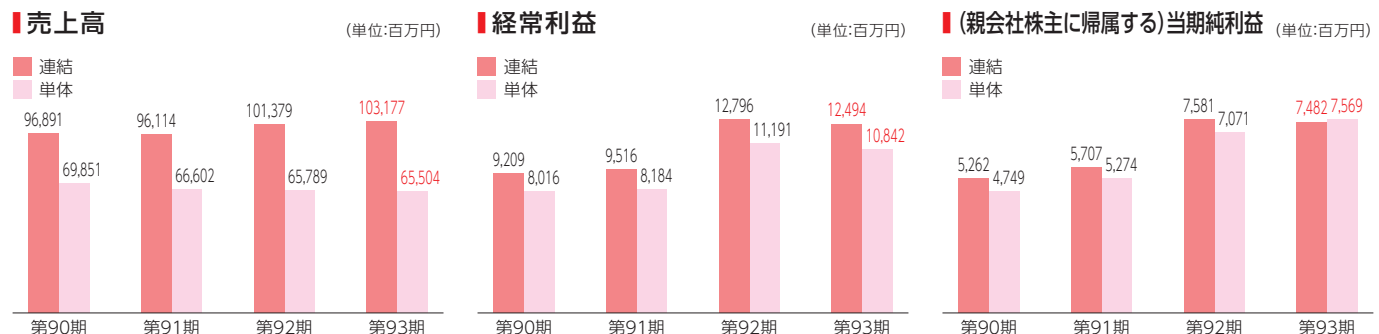
このような状況の中、当社グループは昨年4月より第6次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution Phase3（三井製糖2022への道）」（平成28年4月～平成30年3月）をスタートさせ、初年度計画の新たな施策の実行に鋭意取り組んでまいりました結果、各セグメントの概況は以下の通りとなりました。

売上高は、砂糖事業が862億95百万円、フードサイエンス事業が151億85百万円、不動産事業が16億97百万円で合計1,031億77百万円（前期比1.8%増）、営業利益は、砂糖事業が39億10百万円、フードサイエンス事業が5億68百万円、不動産事業が7億36百万円で合計52億15百万円（同5.0%減）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティーとして75億5百万円を計上しましたが、干ばつによるさとうきび減産の影響を受けたタイ国関連会社の業績悪化を主因として持分法による投資利益が減少したことなどから、経常利益は124億94百万円（同2.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は74億82百万円（同1.3%減）となりました。

なお、当期の1株当たりの配当につきましては、株主の皆様への安定的かつ継続的な利益還元、将来の成長に向けた事業展開と経営基盤の強化のための内部留保の充実にも配慮し、期末配当を1株当たり65円といたしました。当社は、平成28年10月1日付で株式併合を実施しましたので、株式併合後の基準で中間配当金7円を35円に換算しますと、中間配当金と合わせた年間の1株当たり配当金は前期比30円増額の100円となります。

何卒、株主各位の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# トップメッセージ

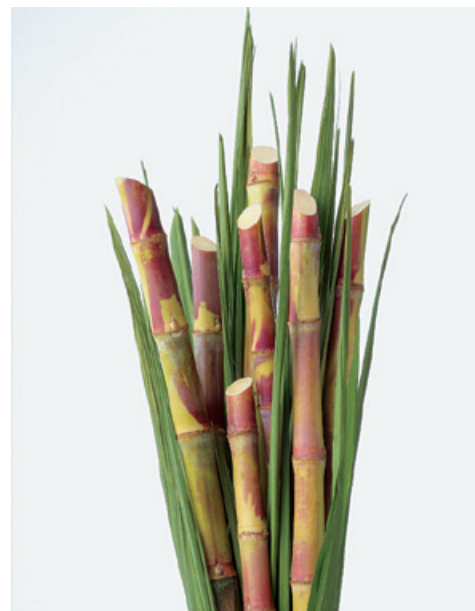


代表取締役社長 雑賀 大介

## ■三井製糖グループの目指す姿

私たち三井製糖グループの事業は、砂糖が売上高の80%以上を占め、さとうきびという自然の恵みを土台として成り立っております。さとうきびは、砂糖という食卓に欠かせない食品になるだけでなく、CO<sub>2</sub>を効率よく吸収し、絞った後の繊維分は燃料となり、その他

にも様々な有価物を生み出します。すなわち、私たちの事業そのものの発展が、豊かな食生活や持続可能な社会の構築、地球環境問題の抑制などに直結するものと考えております。さとうきびを最大限に有効活用し、当社自身の成長を通じて、社会的課題の解決にもアプローチすることを目指してまいります。



## ■砂糖事業の成長戦略

砂糖事業につきましては、少子高齢化や緩やかな消費減退が続く国内では一層の効率化に努めつつ確固たる地位を目指す一方、成長著しいアジア地域へ活動の舞台を広げていくことが、成長戦略の中心であると考えております。

国内砂糖事業の強化にあたっては、当社の3工場体制に北海道糖業(株)を含めた最適生産販売体制を追求していくと同時に、最高レベルの品質管理体制を維持し、収益力のさらなる向上を図ってまいります。また、原料糖を生産する関係会社とのネットワークを積極的に活用し、国産糖を原料とする商品開発などに引き続き取り組んでいくほか、多様化するお客様のニーズに的確に対応すべく、包装形態の改善などにも注力し、市場への新たな価

値提供を目指してまいります。

グローバル展開においては、今後も市場の拡大が見込まれる中国とタイでの事業化を優先して取り組んでおります。

中国では砂糖の需要が年々増大しているほか、品質の高さも求められるようになってきております。当社ならではの生産・品質管理の手法を活かし、事業収益の獲得を目指してまいります。

タイは当社グループが50年以上前から基盤を有している国であり、稲作からさとうきびへの転作が奨励されるなど事業拡大のチャンスを迎えている状況にあります。これを機に、現地の関連会社で生産能力の増強を計画するなど、一層の競争力強化を図っていく方針です。

# トップメッセージ

## ■ フードサイエンス事業の成長戦略

当社収益の柱の1つとして成長しつつあるフードサイエンス事業では、グループ各社の成長と経営資源の最適化、M&Aなどの活用を通じて業容の拡大を図ってまいります。

昨今の健康分野に対する関心の高まりを受け、消化吸収がゆっくりで血糖値の急激な上昇を抑制する効果があるパラチノース®や、(株)タイショーテクノスが扱う天然色素などの機能性素材の販売拡大を通じ、健康で豊かな食生活への貢献を目指します。

また、高齢化社会の進展により、確実な成長が見込まれる医療・介護食分野では、栄養療法食品や嚥下補助材のマーケットで大きな存在感を持つニュートリー(株)を中心に、農林水産省が推進する介護食の枠組み「スマイルケア」を進展させ、さらなるプレゼンス拡大

に努めてまいります。

## ■ 研究開発活動

当社では、「さとうきびを使い尽くす」「糖を知り尽くす」のスローガンのもと、国内外で様々な研究開発活動を行っております。タイではNEDO委託事業（※詳細は9ページ）として、バガス(さとうきびの搾汁後に残る固形物)からポリフェノール等を製造する試験に着手しました。今後もさとうきびや糖に関するエキスパートとして一層知見を深め、「さとうきび総合企業」を目指して新たな事業領域の開拓や用途開発に取り組んでまいります。

## ■ 安全で働きやすい職場づくり

これらの事業活動の大前提として、社員が安全かつ健康的に働ける職場環境の構築にスピードを上げて取り組んでおります。昨年発

生した労働災害事故を踏まえ、二度とこのような事態を起こさぬよう、私たちは労働安全衛生方針「OUR SAFETY COMMITMENT」を制定の上、労働安全衛生マネジメントシステムの認証を取得し、労働安全体制の強化に取り組んでいくことを誓いました。安全文化の構築と浸透のため、社員の意識改革やハード面での体制整備を鋭意進めてまいります。



## ■ 評価される企業グループへ

私たち三井製糖グループは、ダイバーシティの推進、コーポレートガバナンスの継続的な改善、環境対策などを通じて、引き続き企業としての責任を果たし、透明性や公正性の高い経営の推進に努めてまいります。

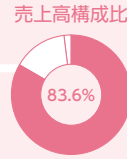
株主の皆様への利益還元につきましては、今後も安定した配当と着実な利益成長を通じて株主価値の拡大に全力を傾注し、日頃のご支援にお応えしていく所存です。

株主の皆様におかれましては、なお一層の理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

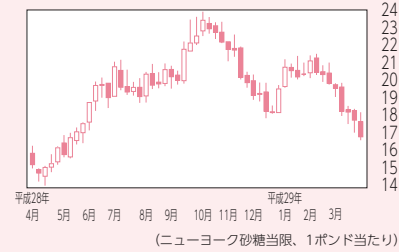


砂糖事業

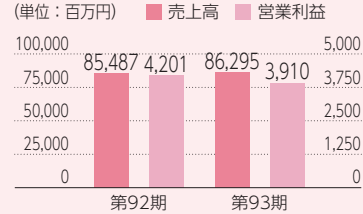
売上高 862億95百万円 (前期比0.9%増)  
営業利益 39億10百万円 (同6.9%減)



海外粗糖相場 (単位: セント)



売上高/営業利益

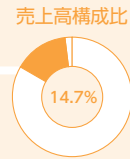


業績概要

- 海外粗糖相場につきましては、期初は15セント半ばでスタートしたのち、世界的な需給逼迫見通しを受けて上昇を続け、6月に20セントを越え、投機資金の流入も重なって10月には23セント台まで高騰いたしました。その後、一時18セントを割り込んだものの、インドの減産観測もあり再び20~21セント台へ持ち直す展開となりました。しかし、2月半ば頃から砂糖需給の改善見通しが伝えられると相場は一気に急落し、3月半ばには18セントを割り込み、16セント後半で期末を迎えました。以上のような相場動向の中、当社では慎重な原料糖調達に努めてまいりましたが、前期比では原料費が大幅に増加いたしました。
- 生産面では、省エネルギー活動や原単位等の改善に努めたほか、原油相場の低位推移を背景としたガスの調達コスト低下もあり、前期比で製造変動費が減少いたしました。
- 販売面では、飲料ユーザー向けの堅調な推移などから業務用はほぼ前年並みを維持しましたが、出荷価格上昇に伴って家庭用製品が伸び悩み、全体の販売量は前期を下回りました。
- 連結子会社につきましては、生和糖業(株)において販売量の増加・販売価格の上昇があったほか、北海道糖業(株)や(株)平野屋の貢献もあり、前期比で増益となりました。

フードサイエンス事業

売上高 151億85百万円 (前期比4.3%増)  
営業利益 5億68百万円 (同2.1%減)



不動産事業

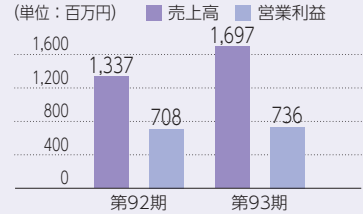
売上高 16億97百万円 (前期比26.9%増)  
営業利益 7億36百万円 (同4.0%増)



業績概要

- 岡山市で新規に物流センターの賃貸並びにメガソーラー発電を開始したことで、売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

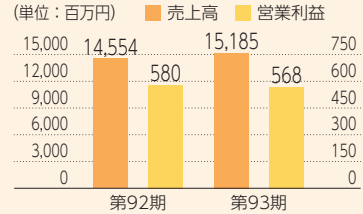
売上高/営業利益



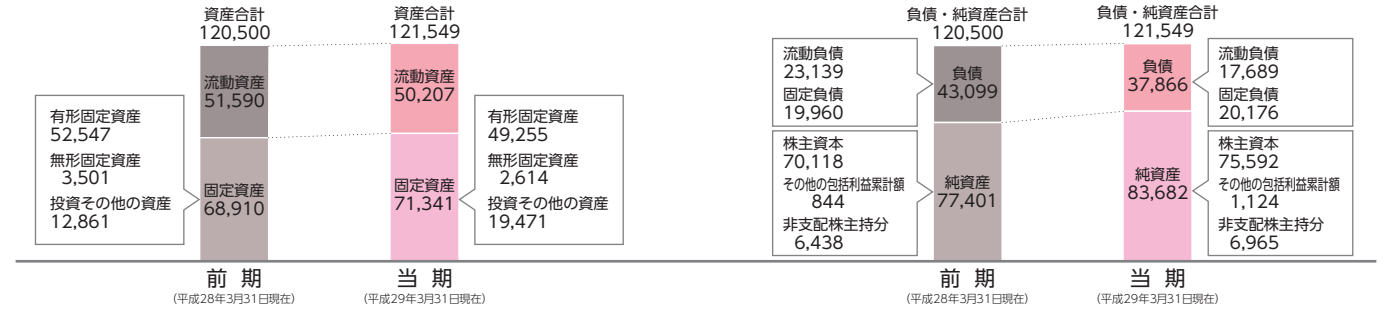
業績概要

- パラチノース、パラチニットの利益率が改善され、営業利益は前期を上回りました。
- 連結子会社につきましては、(株)タイシヨーテクノス、ニュートリー(株)ともに販売が好調に推移したものの、事業拡大に伴う人員採用等の先行投資などから、前期比で減益となりました。

売上高/営業利益



連結貸借対照表 (単位: 百万円)



資産合計

- 前期比1,048百万円増加し、121,549百万円
- 現金及び預金の増加1,471百万円、リース投資資産の増加5,876百万円等
- 商品及び製品の減少2,172百万円、有形固定資産の減少3,291百万円等

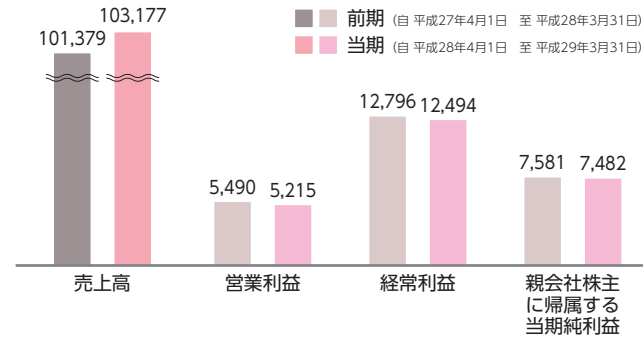
負債合計

- 前期末比5,233百万円減少し、37,866百万円
- 借入金の減少2,300百万円、支払手形及び買掛金の減少2,126百万円等

純資産合計

- 前期末比6,281百万円増加し83,682百万円
- 親会社株主に帰属する当期純利益7,482百万円、剰余金の配当2,002百万円等

連結損益計算書 (単位: 百万円)



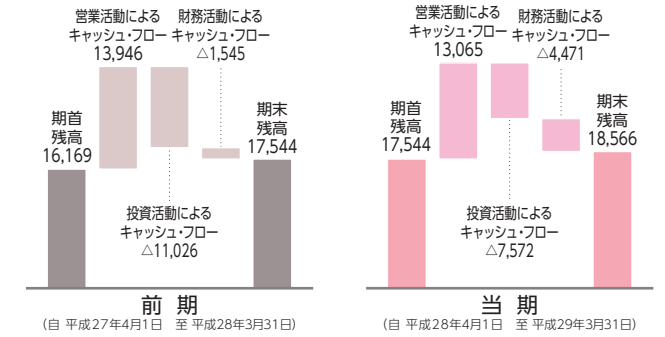
売上高及び営業利益

- 売上高は前期比1,798百万円増加し103,177百万円、営業利益は前期比274百万円減少し5,215百万円

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

- 経常利益は前期比301百万円減少し12,494百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比98百万円減少し7,482百万円

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

- 営業活動による資金の増加は13,065百万円
- 税金等調整前当期純利益12,405百万円、減価償却費4,179百万円等により資金が増加
- 法人税等の支払4,868百万円等により資金が減少

投資活動によるキャッシュ・フロー

- 投資活動による資金の減少は7,572百万円
- 有形固定資産の取得6,947百万円等により資金が減少

財務活動によるキャッシュ・フロー

- 財務活動による資金の減少は4,471百万円
- 配当金の支払1,996百万円、借入金の純減少2,300百万円等により資金が減少

# 1 NEDO プロジェクト

当社は、当社関連会社のタイ国クムパワピーシュガー株式会社で発生するバガスを原料として、機能性素材であるポリフェノール、オリゴ糖及び燃料や各種バイオ化学品生産の共通原料となるセルロース糖（ぶどう糖を主成分とする糖液）を製造する技術実証を、東レ株式会社、三井物産株式会社と共に行っています。この取組みは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「余剰バガス原料からの省エネ型セルロース糖製造システム実証事業」（以下、本実証事業）の受託により行っています。本年度は、本実証事業を推進するため、平成29年1月9日に東レ株式会社との合併会社「Cellulosic Biomass Technology Co., Ltd.」をタイ国に設立しました。

本実証事業はタイ国内に実証プラントを建設した後、平成30年から稼働を開始し、平成34年までに事業性を評価する計画です。当社は独自の精製・抽出技術を活用して「さとうきびを使い尽くす」技術をより高め、技術実証と事業化検討を進めます。また、タイ国製糖会社をさとうきび利用開発のプラットフォームとして、社外との連携を積極的に推進し、新たな価値の提供と持続可能な社会への取組みを進めてまいります。



NEDO実証事業プラントの地鎮祭  
(タイ国ウドンタニ県にて平成29年3月17日実施)

# 2 砂糖の良さを発信

## ■料理研究家コウケンテツ氏との活動

当社と料理研究家コウケンテツ氏との活動は、平成21年からスタートし、今年で9年目となります。

砂糖に対するネガティブな風潮もある中で、コウ氏は一貫して基本調味料である砂糖の重要性を主張してきました。さらに、甘さだけではない砂糖の調理効果と活用術を活かしたオリジナルレシピの作成に取り組み、様々な広告やイベントで発信しています。

昨年は、お砂糖のはたらきをもっと知ってもらいたいという思いから、若い女性向けの料理講座や、親子クッキング教室を全国5会場で行いました。イベントでは、コウ氏オリジナルの砂糖ワザを紹介し、甘さだけではない砂糖の調理効果に参加者からは驚きと感嘆の声が上がりました。

当社は今後もコウ氏と共に、和食における砂糖の役割や、次世代糖質であるパラチノース®を取り入れたスローカロリーな糖質の摂り方を広く発信してまいります。



親子料理教室

## ■スローカロリープロジェクト

当社は、ゆっくり消化吸收される機能を持つ天然の糖質“パラチノース®”に着目し、「食事をゆっくり吸収させて、元気で健康な体を創る」を目標とした『スローカロリープロジェクト』を積極的に展開しています。

平成28年9月～11月には和洋菓子店・カフェと共同で、「ゆっくり吸収」をコンセプトとしたスイーツの祭典「スローオンスイーツフェスティバル」を実施しました。表参道・渋谷を中心とした10店舗以上が



スローオンフェスティバルオープニングイベント

参加し、一般の方にも「ゆっくり吸収」が露出する機会となりました。

また、平成29年3月にはイトーヨーカドーアリオ北砂店にて、料理研究家の浜内千波氏を迎えたトークショーを実施しました。

こうした活動の結果、スローカロリーをコンセプトとするスイーツ店も増加し、『スローカロリープロジェクト』はますます広がりをみせています。

# 3

## ニュートリー(株)四日市本社新工場が稼働開始

ニュートリー(株)が事業展開する栄養・嚥下補助食品は、市場規模の縮小が続く日本の食品市場において数少ない成長分野であり、同社の業績も安定して推移しています。

平成29年1月には、四日市本社新工場が稼働を開始し、主力のとろみ嚥下補助剤の品質向上を図りつつ生産能力を従来の3倍に増強しました。さらに、ニュートリー独自の新容器「インボックス (innobox)」を開発・採用し、製造工程の自動化による生産性アップとコストダウン、及び、お客様の使いやすさを両立することができました。



四日市本社新工場

また、とろみ剤・ゲル化剤の主力商品「ソフティア」シリーズが、3月から新容器へリニューアルされ、嚥下補助食品の商品力が品質も含め一層強化されました。

一方で、海外市場への展開を視野に入れた取組みを進めており、同社工場のハラルとコーシャ認証を第93期に取得し、第94期中の販売開始を目標として、アメリカや中国、東南アジア市場での営業展開を推進しています。



スタンドタイプ(左)からボックスタイプの新型容器へ

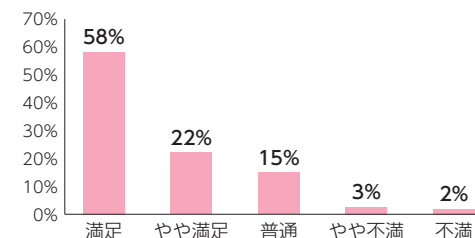
## 株主優待アンケート結果のご報告

昨年7月に発送させていただいた株主優待に関するアンケートに、多くのご回答をお寄せくださり誠にありがとうございました。こちらのページでは、ご回答結果と、皆様よりいただいたご意見の一部をご紹介します。

### ■ アンケート結果のご紹介

■ アンケート対象者：10,318名 ■ アンケート回答者：1,805名

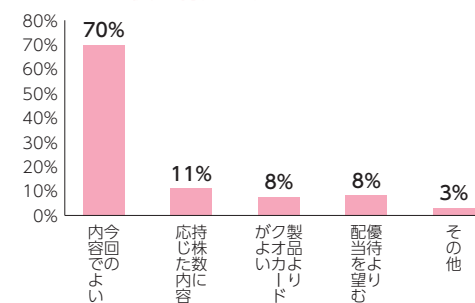
#### Q 優待内容について満足いただけましたか？



#### Q. 優待商品についての感想や当社へのご意見がございましたらお聞かせください。

- ・いろいろな甘味商品を試すことができ、主婦として楽しく、経済的にも助かるので良いと感じています。
- ・さとうきび糖のオリジナルレシピ「バナナパンプティング」作ってみました。またコーヒーに入れてもおいしかったです。
- ・安全が第一、今まで通り安全な商品を作ってください。
- ・ホームページをよく使っています。いろいろあってためになります。砂糖ができるまでの動画とか見たいです。
- ・株式を保有して数十年になります。これからも消費者目線で事業を進めて欲しいと思います。

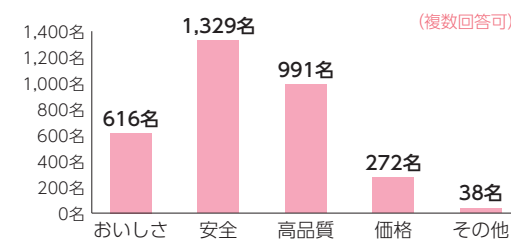
#### Q どのような優待制度を希望しますか？



貴重なご意見を賜り、ありがとうございます。

今後はこれらのご意見を参考に、お客様のご期待に添える商品のご提供、サービス体制を確立してまいりたいと存じます。

#### Q 当社の商品に求めるものは何ですか？



### ■ 優待内容の充実について

今回から株主優待内容が変更になりましたのでお知らせいたします。

株式保有数	送付される株主優待の内容
100株～999株	3,000円相当の当社製品
1,000株以上	3,000円相当の当社製品+2,000円相当の金券等

今年度も1単元(100株)以上の株式をお持ちの株主の皆様へ、7月上旬に株主優待を発送させていただきます。今後とも、一層のお引き立てとご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



会社の概要

商号	三井製糖株式会社
本社	東京都中央区日本橋箱崎町36番2号
主要な事業	精製糖並びに砂糖関連商品の製造、販売
設立	昭和22年9月4日
資本金	7,083,000,000円
使用人数	連結：939名（前期末比8名増） 単体：336名（前期末比1名増）
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

取締役及び監査役（平成29年6月27日現在）

代表取締役社長	雑賀大介
取締役	多胡祐太郎
取締役	野村淳一
取締役	三箇山秀之
取締役	半田純一
取締役	川村雄介
取締役	玉井裕子
取締役	吉川美樹
監査役（常勤）	林洋一
監査役（常勤）	鈴木徹
監査役	西山茂
監査役	飯島一郎

(注) 1. 取締役 半田純一、川村雄介、玉井裕子、吉川美樹の各氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役 鈴木徹、西山茂、飯島一郎の各氏は、社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	28,333,480株 <small>(うち自己株式1,630,251株)</small>
株主数	15,304名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	8,609,070	32.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,379,400	5.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,265,600	4.74
豊田通商株式会社	1,000,000	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	532,000	1.99
三井住友海上火災保険株式会社	510,800	1.91
双日株式会社	500,000	1.87
株式会社三井住友銀行	486,064	1.82
双日食料株式会社	384,000	1.44
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	377,100	1.41

(注) 1. 持株比率は、自己株式(1,630,251株)を控除して算出しております。  
2. 発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対するその有する株式の数の割合が高いことにおいて、上位となる10名の株主を記載しております。

主な子会社の状況

会社名	主要な事業内容
スプーンシュガー株式会社	砂糖の包装・荷役・製袋、加工糖の製造
株式会社タイショーテクノス	食品添加物等の製造・販売
生和糖業株式会社	原料糖の製造・販売
北海道糖業株式会社	ビート糖及び機能性食品等の製造・販売
株式会社平野屋	食品等の製造・販売
ニュートリー株式会社	栄養療法食品及び嚥下障害対応食品などの開発、製造及び販売

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権は、3月31日 期末配当は、3月31日 なお、中間配当をするときは、9月30日
公告掲載URL	http://www.mitsui-sugar.co.jp/
単元株式数	100株
証券コード	2109
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
-----	--

なお、株主様の各種お手続(特別口座に登録された株式を除く)は、株主様が口座を開設されている証券会社を通じて行っていただくことになっておりますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

**株主優待の発送に関するお問い合わせ先**  
株主優待は7月3日にゆうパックにて発送予定です。  
株主優待の発送に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。  
**三井住友信託銀行株式会社 証券代行部**  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

アンケートにご協力ください

本年次報告書に同封の株主アンケートに、ぜひともご協力下さい。また、ウェブでもご回答いただけます。

〈インターネットによるご回答〉  
下記QRコードもしくはURLよりアンケート回答用ページへお入りいただき、下記に記載のキャンペーンコードをご入力の上ご回答願います。※三井住友信託銀行のサイトになります。

【URL】 <http://smartweb.eventissimo.jp/public/>  
【キャンペーンコード】 3806201703311



※株主優待・株主アンケートは、1単元(100株)以上をお持ちの株主の方が対象となります。

ウェブサイトのご案内

当社に関する情報は、ウェブサイトでもご覧いただけます。



<http://www.mitsui-sugar.co.jp/>



この印刷物は植物油インキで作成されています。



この印刷物はFSC®認証紙を使用しています。



この報告書の印刷で使用される電力のうち100kWhはバイオマス発電のグリーン電力を利用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

三井製糖株式会社

<http://www.mitsui-sugar.co.jp/>  
〒103-8423  
東京都中央区日本橋箱崎町36番2号  
電話(03)3663-3111(代表)





## 初夏におすすめ! ひんやりスイーツ

スプーン印のお砂糖とヨーグルトを使用した、初夏にぴったりのおすすめレシピをご紹介します。

### ブルーベリームース



#### グラニュ糖使用

ブルーベリーの酸味とグラニュ糖の甘みが相性抜群。ブルーベリーの風味がしっかり活かしています。



《材料》(4個分) .....

プレーンヨーグルト…200g、生クリーム…1/2 カップ、**グラニュ糖**…大さじ1、ゼラチン…小さじ1・1/2、水…大さじ1、**A**(冷凍ブルーベリー…30g、**グラニュ糖**…大さじ3)、**B**(冷凍ブルーベリー…75g、**グラニュ糖**…大さじ2、レモン汁…小さじ1/2)

《作り方》 .....

- ※ プレーンヨーグルトをクッキングペーパーを敷いたザルにのせ、約1時間水切りをする。
- ※ ゼラチンに水を加え、ふやかしておく。
- ※ 【ブルーベリーソース】**B**を耐熱容器に入れ、電子レンジで加熱(500W2分)し、冷やしておく。
- 1 耐熱容器に**A**を入れて軽く混ぜ、電子レンジで加熱(500W2分)し軽くつぶす。
- 2 ふやかしておいたゼラチンに1を少量加え、電子レンジで加熱(500W15秒)する。
- 3 残りの1に2と水切りしたヨーグルトを加え、混ぜ合わせる。
- 4 生クリームにグラニュ糖を加えて少し角が立つまで泡立て、3に加える。全体を混ぜ合わせ、容器に流し入れて冷蔵庫で冷やし固める。
- 5 冷蔵庫で冷やし固まったら、ブルーベリーソースをかけて出来上がり。

※電子レンジの温度と時間は目安です。ご使用の際は火傷に十分ご注意ください。

### フローズンヨーグルト



#### 三温糖使用

三温糖の甘みとココがヨーグルトとフルーツを引き立てます。シャリシャリ感とさわやかさが夏にぴったり。



《材料》(アイスクャンディ型4〜5本分) .....

プレーンヨーグルト…200g、生クリーム…大さじ3、**A**(三温糖…大さじ7、水…45g)、お好みのフルーツ…適量(☆)、飾り用フルーツ…適量

《作り方》 .....

- ※ プレーンヨーグルトをクッキングペーパーを敷いたザルにのせ、3/4量程度に水切りをする。
- ※ 飾り用フルーツを好みの大きさに切る。
- 1 耐熱容器に**A**を入れ、電子レンジで加熱し(600W1分)、粗熱をとる。
- 2 ミキサーに1、水切りしたヨーグルト、フルーツ、生クリームを入れ混ぜ合わせる。
- 3 型に飾り用フルーツを入れ、2を注ぎ、冷凍庫で固まったら出来上がり。  
☆フルーツは冷凍パイナップル、冷凍マンゴー、冷凍ラズベリーなどがおすすめです。



ヨーグルトにかけて食べるなら…  
溶けやすく混ぜやすい  
「サッと溶けるお砂糖」がおすすめ!



サッと溶けるお砂糖100g